



福岡中学校・馬出小学校 建替検討委員会ニュース



校舎の老朽化に伴う建替えにあたり設置した「福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会」(以下、検討委員会)^{※1}において、令和6年3月から建替えのあり方などについて協議を行ってきました。令和6年6月に**施設一体型による小・中学校を馬出小校地に建設**することで確認がなされ、委員から提案された案も含め「3つの建替え方」^{※2}をお示しました。各案、一長一短あるものの、将来にわたる子どもたちのよりよい教育環境のためにとの思いで、各委員それぞれの立場から意見交換を重ね、これまで議論を尽くしてまいりました。

令和7年6月26日に第6回検討委員会を開催し、同6月に実施した福岡中・馬出小保護者へのアンケート結果も参考に、改めて議論した結果、委員から通学の見守りをしっかり行うことなどの発言もあり、望ましいという意見が最も多かった**C案の建替え方で進めていく**こととなりました。

※1 委員構成(15名):自治協議会・自治連合会の役員、小・中PTAの役員、公民館・会館の館長、小・中の校長、教育委員会

※2 A案:反転建替え、B案:原位置建替え、C案:更地建替え [詳細は検討委員会HPをご覧ください。][馬出小建替え](#) [検索](#)]

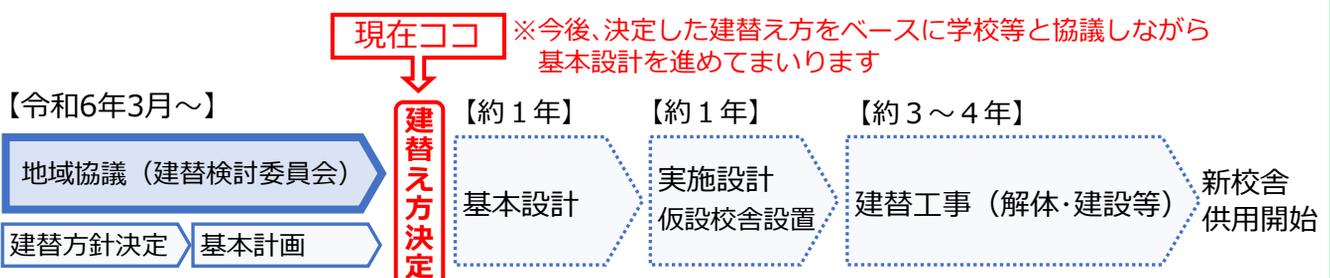
< C案 更地建替え > ※裏面詳細

◆**工事期間中は福岡中に小学校の仮設校舎を建てて、小中学校の運営を行いながら、馬出小を更地にし、既存校舎側と同様の位置に新しい小中学校の校舎や体育館を建設する。**

(主な意見)

- ・保護者アンケートの結果をみると、望ましい案はA案とC案がそれぞれ約4割で、長期にわたり工事の影響を受ける小学校低学年の保護者も全体と同じ傾向で、工事期間が短い方がいいということを最も重視しているということがわかった。
- ・工事期間中、通学場所は変わるが、工期がA案と同じで短く、工事と学校運営が別々で安全に建設できること、また、将来を見据えると、より校舎の階数を抑えられ、配置も周辺に配慮できるC案が、総合的に考えるとよい。
- ・C案は、工事期間中、福岡中に小学生が通うことになり、通学場所が変わることに不安がある。アンケートの結果からも、登下校への対応が必要と考える。
- ・通学の見守りについては、PTA主体で、学校、地域など、みんなで見守りできる仕組みづくりに取り組んでいきたい。

< 今後のスケジュール (予定) >



(お問い合わせ先)

福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会事務局(教育委員会学校計画第2課)

TEL: 711-4252 E-mail: gakkokeikaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

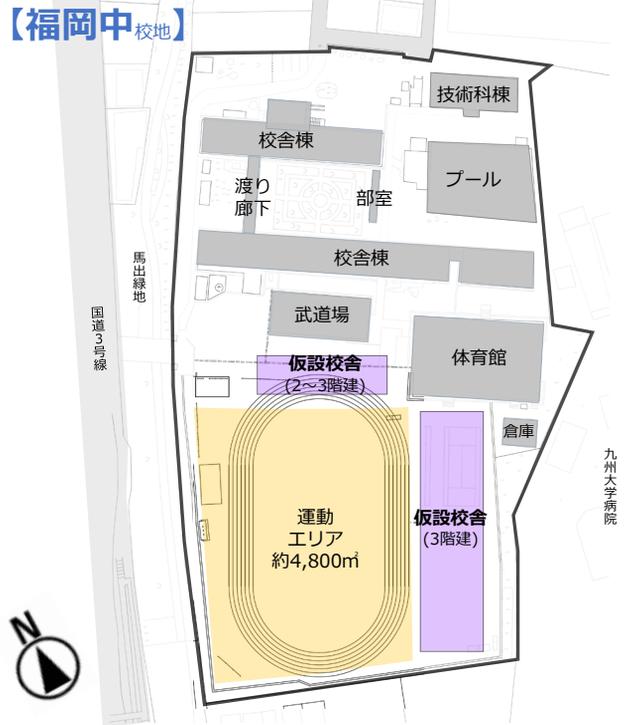
<基本計画の概要> 大まかな建替え方(配置、規模、機能等)の詳細イメージ

< C案 更地建替え > 工事期間：約4年(仮設校舎設置～解体・建設等まで)

完成後 ※施設一体型小・中学校



工事期間中 ※福岡中学校に仮設校舎を設置



<主な規模・機能の整理>

○新校舎・体育館エリア

- ・24学級規模で計画 ※R6時点
- ・通級指導教室、放課後児童クラブも含む
- ・運動場確保の観点から体育館(メイン・サブ)と武道場の重層化、校舎の高層化も想定
- ・浸水対策として、メインの体育館は2階レベルに設置

○運動場エリア

- ・可能な限り現中学校規模の運動場面積の確保(200mトラック、100m直線等)
- ・プールは民間活用を検討 など

○児童広場エリア

- ・安全確保の観点から、中学校の部活動と小学校の児童活動エリアはゾーン分け
- ・その他、遊具なども必要

○その他エリア(駐車場、アプローチ等)

- ・児童生徒と給食等の車両の動線についても配慮が必要

※数値は目安です。また、資料の図などはイメージであり、今後の基本設計において変更になる可能性があります。